



向井鍛工株式会社

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間 2024 年4月1日～ 2025 年3月31日)



作成日：2021年4月7日
更新日：2025年4月25日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

向井鍛工株式会社は、平成29年におかげさまで創業100周年を迎えました。
大正6年の創業以来、強靱で高品質な鍛造製品を供給し鍛造一筋に歩み続け、日々お客様のご要望に応える製品づくりに邁進して参りました。
これからも高度な独自技術を創造し続け、より多くのお客様に、ご満足していただけるよう努力して参ります。
エネルギーを多く消費していることもあり、環境負荷低減を含めて環境経営に取り組んでいきます。

口ごあいさつ

私たちは、鍛造技術で日本のものづくりを支えていると自負していますが、電力と都市ガスを多量に使っていることもあり、少しでも環境負荷の低減に努める事が重要と考えています。
今回エコアクション21に取り組む事によって全社員力を合わせて、生産の効率化を図る中で省エネなどに取り組んでまいります。
今回私たちの環境活動をレポートに取りまとめましたので、ご覧いただければと思います。

経営理念

○向井鍛工は未来に向かい笑顔あふれる鍛造会社になります。

品質方針 2022年度
ISO9001

不良品をゼロにする。

品質目標

UST欠陥(粗大結晶)をなくす。

環境経営方針

<環境経営理念>

経営理念を実現する為に、本業である鍛造を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

お客様に喜んでいただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーに提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 仕事を見直し廃棄物の発生抑制につとめます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 効率良く高品質な物をお客様にお届けします。
6. 提案活動により現場内の改善を推進します。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2020年10月1日

代表取締役社長 向井 康裕

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

向井鍛工株式会社

代表取締役社長 向井康裕

(2) 所在地

本 社 兵庫県尼崎市西高洲町16丁目48番

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 製造部 堤 蓮

TEL：06-6419-6961

担当者 製造部 堤 蓮

(4) 事業内容

電子材部品・特殊金属部品・各種産業用機械部品の鍛造

(5) 事業の規模

売上高 259 百万円

	本	社
従業員	名	15 名
延べ床面積	m ²	379 m ²

(6) 事業年度

4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 向井鍛工株式会社

対象事業所： 本 社

対象外： 無し

活動： 電子材部品・特殊金属部品・各種産業用機械部品の鍛造

□事業や製品(商品)の紹介



2.5tエアハンマ



1tエアハンマ



ガス鍛造加熱炉 (正面)



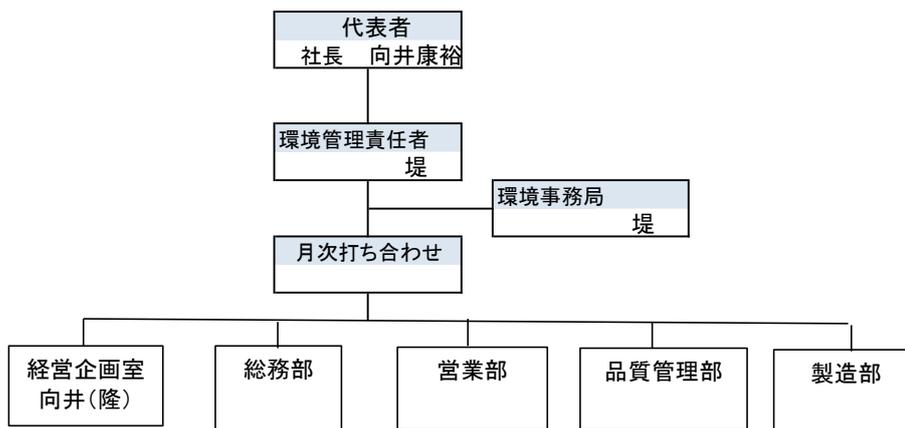
ガス鍛造加熱炉 (横面)



マニプレート (10t)



マニプレート (吊長タイプ)



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、月次打ち合わせの事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
月次打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	730,719	672,170	688,689
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	955	891	825
産業廃棄物排出量	kg	350	1,560	1,190
水使用量	m ³	1,302	999	1,115

※二酸化炭素排出係数 0.311 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2024年		評価	2025年	2026年	
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	140,428	126,385	124,769	○	126,385	126,385	
	基準年度比	2019年	90%	89%		90%	90%	
	原単位	kWh/千円	1.729	1.556	1.551	○	1.556	1.556
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	589,864	501,384	498,772	○	501,384	501,384	
	基準年度比	2019年	85%	85%		85%	85%	
	原単位	m ³ /千円	1.045	0.889	0.893	×	0.889	0.889
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	67,301	60,571	63,595	×	60,571	60,571	
	基準年度比	2019年	90%	94%		90%	90%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	797,593	688,341	687,136		688,341	688,341	
一般廃棄物の削減	kg	955	888	825	○	888	888	
	基準年度比	2019年	93%	86%		93%	93%	
水道水の削減	m ³	1,530	1,224	1,115	○	1,224	1,224	
	基準年度比	2019年	80%	73%		80%	80%	
防錆剤の管理	kg		SDS調査、使用量把握					
基準年度比								
効率的な生産活動	行動目標(次項による)							
提案活動の推進	行動目標(次項による)							

※産業廃棄物は少量で推移しているため目標としません。排出量の把握、マニフェスト管理を行っています。

※客先支給の防錆剤（化学物質含む）の管理も行っていきます。

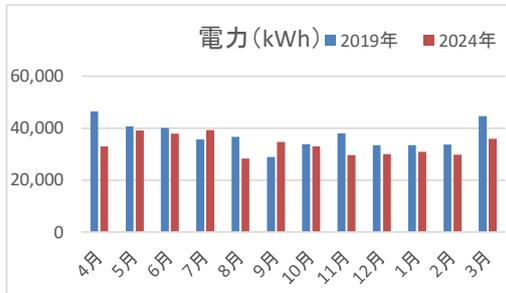
※LPGは少量のため目標としていません。

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	年間を通して目標達成手段の取組がほぼできたので、数値目標は達成となった。原単位では売上が同程度で90%となった。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・定時退社の継続	○	
・エアパッキンの定期的交換	○	
・鍛造工程までの時間短縮	○	



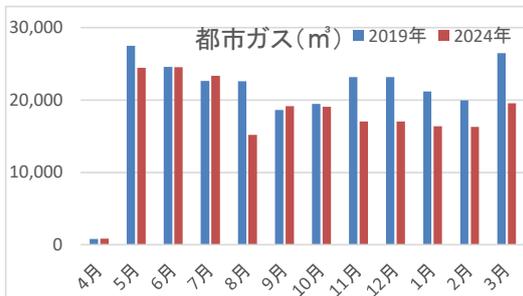
取組紹介欄



仕事の効率化に取り組んでいます

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	46,430	40,739	40,081	35,625	36,751	28,918	33,829	38,028	33,440	33,440	33,754	44,699
2024年	32,929	39,080	37,891	39,219	28,246	34,612	33,014	29,625	30,001	30,860	29,778	35,932

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成手段の取組はほぼ出来ていた。数値目標は85%で達成となった。売上高当たりでも85%となり目標はほぼ達成。
・加熱終了後時間をおかずに停止	○	
・余熱の活用	○	
・加熱炉の温度管理	○	



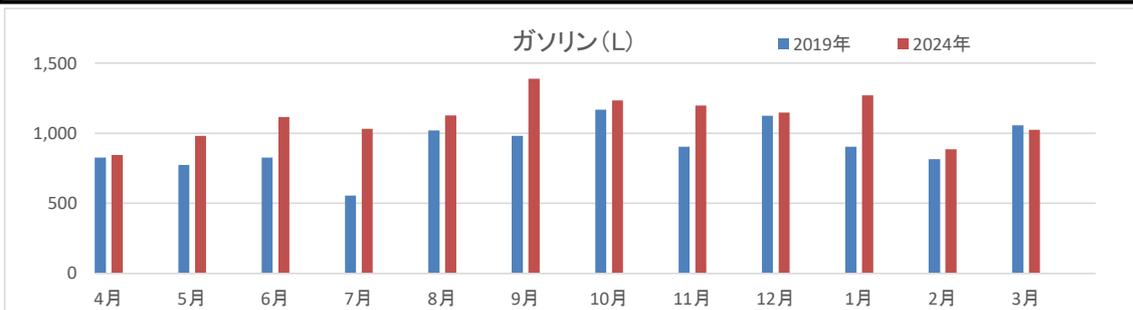
取組紹介欄



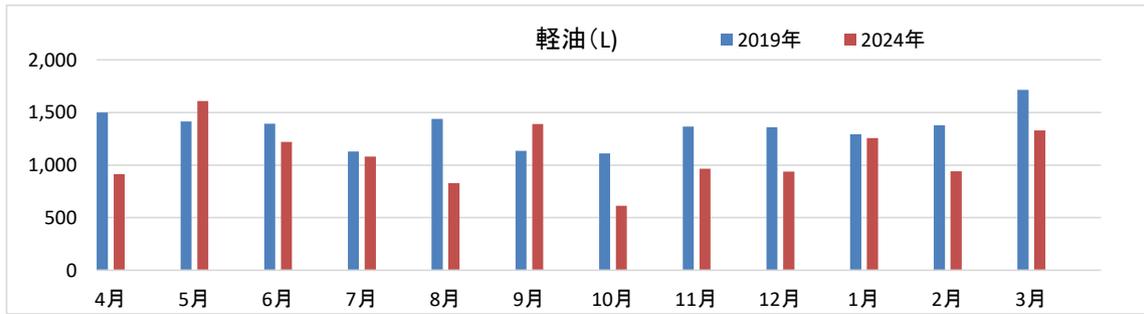
加熱炉の省エネに取り組んでいます

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	827	27,472	24,595	22,624	22,583	18,618	19,491	23,194	23,194	21,165	19,935	26,465
2024年	844	24,456	24,500	23,306	15,183	19,171	19,042	17,045	17,045	16,370	16,260	19,544

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	目標達成できなかった。引き続き無駄なガソリンや軽油の使用を減らす努力をする。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	

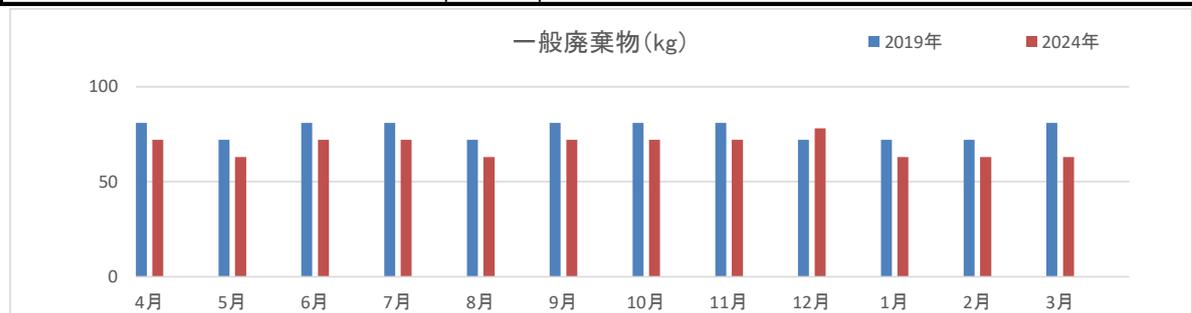


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	827	774	826	555	1,019	982	1,167	903	1,124	903	813	1,057
2024年	844	981	1,116	1,031	1,128	1,389	1,233	1,196	1,147	1,272	885	1,025



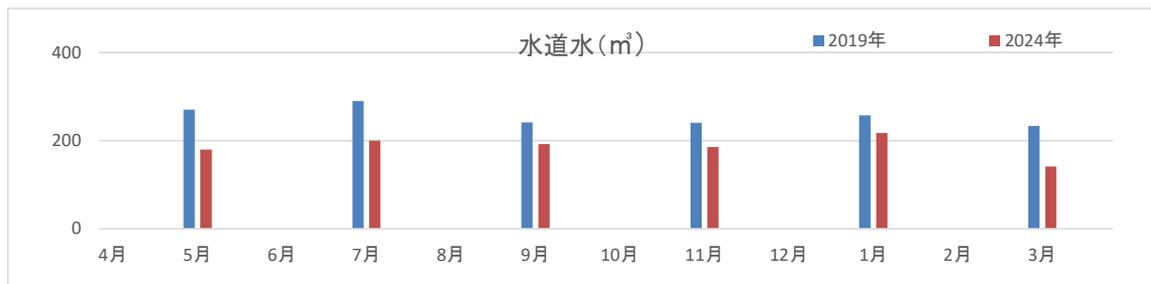
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	1,500	1,413	1,395	1,131	1,438	1,138	1,110	1,369	1,360	1,293	1,378	1,715
2024年	913	1,610	1,223	1,082	829	1,389	616	965	938	1,259	940	1,329

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成手段の取組出来ている。次年度もごみを削減するよう努める。
・分別の徹底	○	
・帳票類の電子化	○	
・梱包材の有効利用	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	81	72	81	81	72	81	81	81	72	72	72	81
2024年	72	63	72	72	63	72	72	72	78	63	63	63

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成手段の取組はほぼ出来ている。今期73%を達成した。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・クーリングタワー補給水漏れ点検	○	
・漏水定期点検	△	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	0	270	0	289	0	241	0	240	0	257	0	233
2024年	0	180	0	200	0	192	0	185	0	217	0	141

効率的な生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良品の削減	○	ISO9001データより、不良品は削減した。引き続き品質管理を行い生産性向上に努める。ISO更新審査で品質についての指摘はなかった。
・稼働率向上	△	
・顧客クレーム削減	○	

提案活動の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・改善案件の募集	○	毎月の事務所営業会議とミーティングで議事録を整備して、EA21の目標達成手段の提案の中からほとんど実施している。社内リスクも提案し実施する。
・月次打ち合わせの充実（日報、EA21、提案改	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（混合）
騒音規制法	空気圧縮機、鍛造機 届け出不要
振動規制法	空気圧縮機、鍛造機 届け出不要
大気汚染防止法	加熱炉
消防法（危険物）	危険物の保管 軽油指定数量1/5以下
労働安全衛生法	防錆剤SDS評価
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

環境上の苦情等ありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2025年3月5日	■実施場所 工場
■参加者： 現場作業員	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 鍛造中スケールが飛んで置いてあったウエスに引火した。	
■評価： 手順書通り問題なく実施できた。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 火災が発生したと周りに声掛けし、現場にある非常ベルを鳴らしスムーズに事務所に知らせることが出来た。 消火訓練は、消火器の場所を全員が理解しているので短時間で消火活動が行われた。 EA21認証取得後の5回目の訓練と同様に実施した。 消火器の有効期限を確認した。	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年4月25日

【前回の指示への取組結果】 継続することで、特にありませんでした。	
<情報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等)	◇環境方針 変更なし 2024年12月23日制定が最新版
◇環境経営目標・計画の達成状況	◇環境経営目標・環境経営計画 変更なし 今年度実績を考慮して次年度目標値を検討する。 ISO9001との環境関連を考慮する。 提案活動の推進について目標達成手段や評価の方法 を検討する。
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 ・環境上の問題点等	◇実施体制他 変更なし
<p>2024度のエネルギー消費量を再確認し現状を把握しました。データ収集の結果、増減の原因を分析して削減を目指せるようにミーティングで目標達成手段を検討したいと考えています。次年度は環境負荷軽減に向けた努力を続け、設備の見直しや効率化により、さらに、電力、ガス消費量を削減していくためにエコアクション21を活用し効果的、効率的、継続的に環境経営に取り組んで参ります。</p>	

環境経営方針 変更なし 変更あり
 環境経営目標・計画 変更なし 変更あり
 実施体制他 変更なし 変更あり

□これまでの環境活動の紹介



加熱炉

重油から都市ガスに変更しリジェネバーナーを採用

- 地域や関係団体の環境活動への参加。
 - 工場周辺の清掃
 - 大阪府中小企業家同友会環境部会への参加

□編集後記

レポートを作成して、数値化にしてこれまでは、気にせず使っていたガスや水道の使用量などを知れて省エネを心がけようと思いました。